

# 集まれ！理系女子報告

## 第 1 回 女子生徒による科学研究発表交流会



本校では、「女性の科学技術分野での国際的な活躍を支援できる教育モデルの構築」をめざして、3年間SSH校として研究開発に取り組んできました。4年目となる平成21年度は、これまでの研究成果を普及するために、新たな研究テーマとして「研究成果の地域への普及による科学技術分野での女子生徒のキャリア形成支援」を設定しています。その取り組みとして、H21年10月31日(土)に、福山大学社会連携研究推進センターを会場に、「集まれ！理系女子 第1回女子生徒による科学研究発表交流会」を開催しました。今回はその様子を当日の写真やアンケート結果をもとに報告します。



### 女性講師による講演

当日は、福山大学薬学部 杉原成美先生と、ルイ・パストゥール医学研究センターの宇野賀津子先生に、これから理系を目指す女子生徒達に向けて講演をして頂きました。同じ女性の立場で理系分野での経験と機知に富んだ講演を聴くことで、“女性の生き方”を考える材料を提供し、女子生徒の理系分野へのキャリア意識を高めることを目的としています。どちらの先生の講演内容も興味深く、これから理系を目指す生徒達にとって大変参考になったと思います。

宇野賀津子先生  
演題：20世紀科学の発展は女性のライフサイクルを世どくように変えたか



### 課題研究口頭発表

課題研究の口頭発表では、SSHに指定されている高校8校の女子生徒が研究内容をプレゼンテーションしました。本校を含む岡山県内のSSH校だけではなく、広島県、兵庫県、島根県、福岡県内のSSH校もプレゼンしました。“水ロケットの研究”や“マダイの顎骨の研究”、さらには“甲子園浜の渡り鳥の研究”など、幅広い分野から非常にユニークな研究発表ばかりだったと思います。発表後は質疑応答の時間となり、女子生徒同士で研究内容についてやり取りし合う姿はとて新鮮でした。

清心女子高等学校の口頭発表  
「オオイトサシヨウウオの飼育下での効率的な繁殖方法の確立を目指して」



### 女子中高生・女性科学者達による研究内容のポスター発表

ポスター発表では、48テーマの研究内容が集まり、それぞれの研究内容について女子生徒がプレゼンテーションしました。普段の研究発表会では男子生徒が主となって発表を行う様子が多く見られますが、この発表会では女子生徒が発表を行います。それにより、理系に進むうえで必要となるプレゼンテーション能力を、女子生徒に積極的に伸ばしてもらいたいことをねらいとしました。また、お互いの研究について説明し合い、共に理系を目指す仲間を見つけるきっかけを作ることも目指しています。

さらに、中高生以外にも若年の女性科学者による10テーマの研究発表も設定しました。これは、女子生徒に身近なロールモデルを示し、自分の進路を考えるうえで相談に乗れるお姉さん達との接点を作ることをねらいとしています。

自分達の研究を通して、他の学校の女子生徒や女性研究者達と交流が持てたことは、参加した生徒達にとって非常に有意義な時間だったように思います。

ポスター発表会場の様子



女子生徒による発表

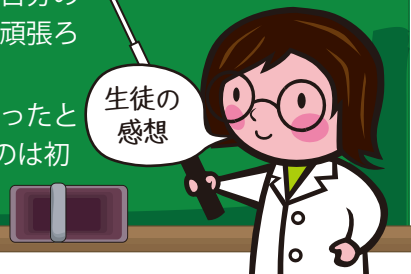


女性科学者による研究紹介

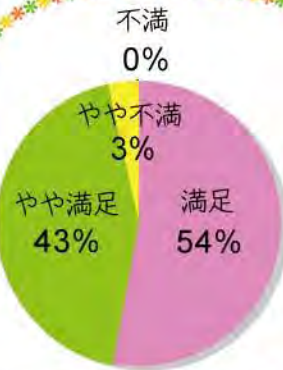


- 普通は男子が多いので、女子だけの発表会というのは新鮮でした。理系に関する知識だけでなく、人として大切にすべきものを学ぶことができとても嬉しかったです。
- とても良い交流会だと思いました。自分の研究をいろんな方(特に同年代の人)に聞いていただけだったので貴重な経験ができました。また、大人の方の研究や講演会でのお話を自分の中に取り入れることができ、少し成長できたような気がします。理系で頑張ろうという気持ちを強めることができました。
- SSH指定校と交流する機会が減多にないので今回の交流会はとても良かったと思います。また、大学生の方のポスターセッションを聞くことができたのは初めてだったので、とても貴重な経験となりました。

生徒の感想

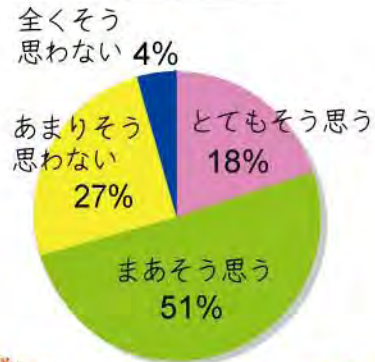


# 参加生徒のアンケート結果

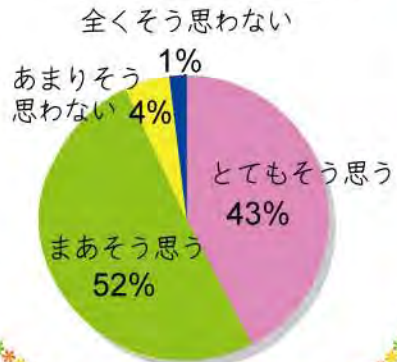


Q1. 今回の交流会は全体的にいかがでしたか？

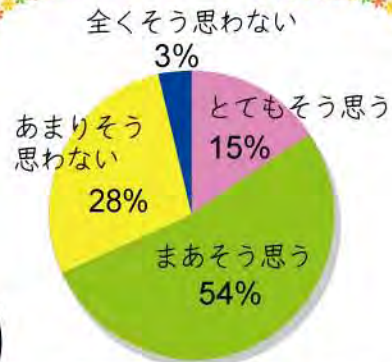
Q2. 異なる学校の生徒との交流は良い刺激になると感じますか？



Q3. 理系の女子生徒は多いと感じましたか？



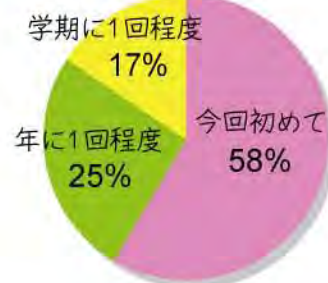
Q4. 理系分野で女性は必要とされていると感じますか？



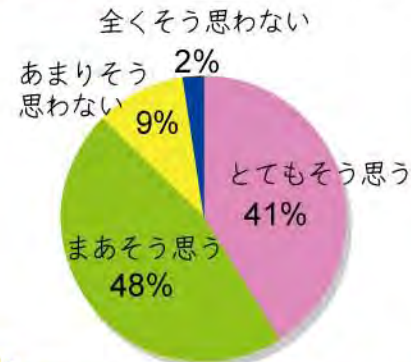
Q5. 理系で活躍する女性の講演を聞いたことがありますか？



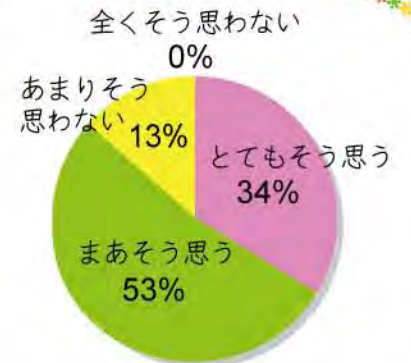
Q6. 女性科学者の研究発表を聞いたことがありますか？



Q7. 女性科学者の講演・発表は良い刺激になりましたか？



Q8. 女性が研究を続ける事は難しいと感じますか？



当日は、教育関係者、保護者、一般の方々も含め、非常に多くの方が参加して下さいました(右表)。参加して下さいました皆様、本当にありがとうございました。来年度も同じ時期に開催したいと考えていますので、今後ともよろしくお願いたします。また、さらに多くの方に参加していただけるように計画を練っていきたく考えています。

※「集まれ！理系女子第一回女子生徒による科学研究発表交流会」の当日配布したパンフレットのPDFは本校のH.P.からダウンロードできます。理系進学を考える資料、メッセージ、ポスター発表の題目・発表者、口頭発表の題目・発表者・要旨を掲載したものです。

参加者総数…272名

発表生徒	150名	引率教員	22名
女性研究者	10名	来賓	15名
本校教職員	15名		
当日参加	60名		
〔大学関係28名 高校関係4名〕			
〔保護者18名 その他10名〕			

参加状況



発表会の様子がネット上に配信されています

発表会当日の動画が、サイエンス・ニュース・ネットワークのホームページで紹介されています。講演をして下さった宇野加津子先生が実際に説明して下さいましたので、下のアドレスにアクセスしてぜひご覧になって下さい。

サイエンス・ニュース・ネットワーク URL  
<http://sciencenews.jp/index5.html>

また、本校のホームページ上にも当日の様子の写真が掲載されていますので、こちらもご覧になって下さい。

清心女子高等学校H.P. アドレス  
<http://www.nd-seishin.ac.jp>

